

令和6年度版

よ く わ か る 公 共 事 業

～ 公共事業の目的、効果、進捗状況を情報発信 ～

佐波伊勢崎地域



一級河川男井戸川 河川改修



(都)上矢島米岡線 バイパス整備



県道香林羽黒線(下植木町工区) 歩道整備



東毛流域下水道 幹線管渠整備



ていぼう
堤防

どんな効果
があるの？



はし
橋

事業の進み
具合は？

何のために事業
しているの？



どうろ
道路

どんな事業？



こうえん
公園

佐波伊勢崎地域

佐波伊勢崎地域は、県の中南部に位置し、東京から100km圏内にあり、一部に丘陵地があるほかは、ほぼ平坦な地域です。年少人口と生産年齢人口の割合が高く、農業と商工業がバランス良く発展しています。また、埼玉県と接し、関越自動車道、北関東自動車道、東毛広域幹線道路等主要幹線道路が整備され、10km以内に多くのインターチェンジを有しています。鉄道においてもJR両毛線と東武伊勢崎線があり、交通の利便性が優れています。



地域の優れた特性

- 東京圏に近く、高速交通網の効果が地域全体に行き渡るなど交通の利便性が高く、輸送用機器や業務用機器等の製造業が盛んで製造品出荷額も多く、企業集積が進んでいます。
- 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産である田島弥平旧宅をはじめ、日光例幣使街道、華蔵寺公園や道の駅「玉村宿」などの魅力ある地域資源があります。

地域の現状と課題

- 過去に被害があった箇所を中心に、水害リスクを軽減するための取組や豪雨時・地震時等でも道路の安全な通行を確保するための取組が求められています。
- 地域経済の更なる活性化につながるよう、地域間連携を強化するための取組が求められています。
- 既存の高速道路を有効活用し、物流の効率化による地域経済の活性化を図るための取組が求められています。
- 市街地等の交通渋滞を解消し、円滑な交通を確保するための取組が求められています。
- 通学路を中心に、歩行者や自転車の安全な通行を確保するための取組が求められています。
- 快適な生活環境づくりに向け、汚水処理人口普及率の向上に向けた取組が求められています。



県民の声

- 過去に河川が氾濫して被害が発生した箇所について、再び、氾濫被害が発生しないように、河道拡幅等の整備を進めてほしい。
- 通学路となっているのに、歩道が無いところがあるため、通学するのに不安がある。
- 過去に道路が冠水し、通行止めや周辺家屋等への浸水被害が発生した箇所の対策をしてほしい。
- バランスのとれたまちづくりや積極的な都市間連携を進めてほしい。
- 市街地や交差点等での渋滞が発生しているため、渋滞対策を進めてほしい。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 令和元年東日本台風と同規模の豪雨による水害リスクを軽減するため、一級河川広瀬川の堤防強化等を推進します。
- ② 社会経済の壊滅的な被害を回避するため、一級河川利根川の堤防嵩上げ等を推進します。
- ③ 過去に被害があった箇所を中心に水害リスクを軽減するため、一級河川男井戸川の河川改修等を推進します。
- ④ 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、県道前橋館林線の電線共同溝の整備等を推進します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 物流の効率化による地域経済の活性化を図るため、高速道路へのアクセス道路である県道苗ヶ島飯土井線の整備等を推進します。
- ② 市街地等の円滑な交通を確保するため、(都)上矢島米岡線のバイパス整備等を推進します。
- ③ 歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道駒形柴町線の歩道整備等を推進します。
- ④ 地域間連携を強化するため、交通渋滞箇所の緩和に向けた検討を行います。

政策5 美しく良好な環境の保全

- ① 汚水処理人口普及率を向上させるため、東毛流域下水道（佐波処理区）伊勢崎幹線の管渠整備等を推進します。

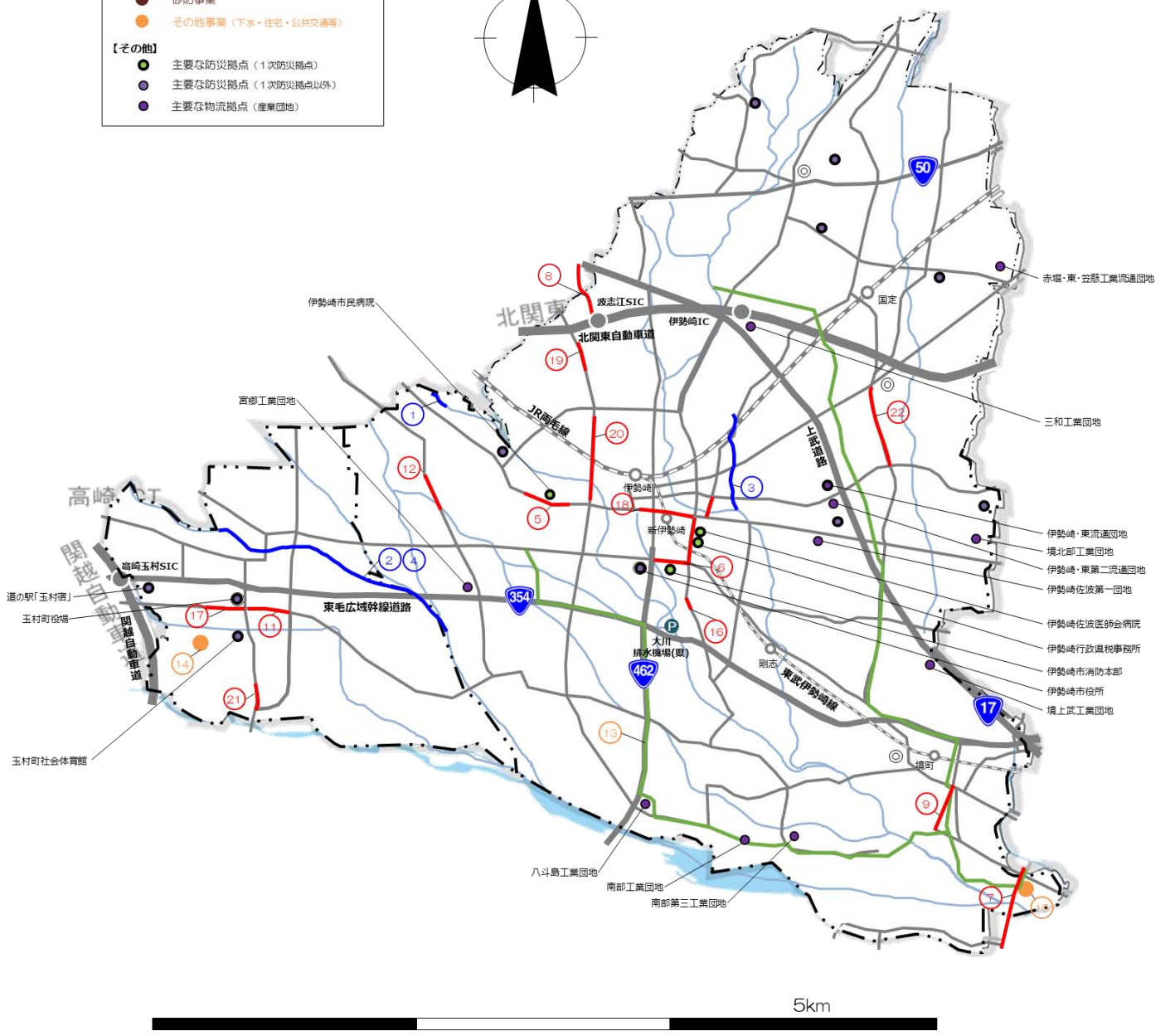
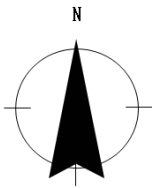
～掲載事業一覧～

佐波伊勢崎地域

番号	事業内容	施工箇所	路河川名	ページ番号
1	堤防強化	伊勢崎市宮子町ほか	一級河川広瀬川	1
2	河川改修	伊勢崎市柴町 ～玉村町上福島	一級河川利根川(伊勢崎・玉村工区)	2
3		伊勢崎市日乃出町～豊城町	一級河川男井戸川	3
4		伊勢崎市柴町 ～玉村町上福島	一級河川利根川(伊勢崎・玉村工区)	4
5	電線共同溝	伊勢崎市連取町	県道前橋館林線(連取町2期工区)	5
6		伊勢崎市今泉町	国道462号(今泉町工区)	6
7	橋梁架替	伊勢崎市境平塚 ～埼玉県深谷市中瀬	県道伊勢崎深谷線(上武大橋)	7
8	道路新設	前橋市飯土井町 ～伊勢崎市波志江町	県道苗ヶ島飯土井線 (波志江スマートICアクセス)	8
9	バイパス整備	伊勢崎市境東 ～境米岡	(都)上矢島米岡線	9
10	歩道整備	伊勢崎市下植木町	県道香林羽黒線(下植木町工区)	10
11		玉村町下新田	県道綿貫篠塚線(下新田工区)	11
12		伊勢崎市宮古町	県道駒形柴町線(宮古町工区)	12
13	幹線管渠整備	伊勢崎市境平塚ほか	流域下水道 佐波処理区	13
14	処理場整備	玉村町上之手	流域下水道 県央処理区	14
15		伊勢崎市境平塚ほか	流域下水道 佐波処理区	15
16	交差点改良	伊勢崎市茂呂町	県道伊勢崎深谷線(茂呂町二丁目交差点)	16
17	歩道整備	玉村町下新田	県道綿貫篠塚線(下新田2期工区)	17
18	電線共同溝	伊勢崎市東本町	県道前橋館林線(東本町工区)	18
19	歩道整備	伊勢崎市波志江町	県道伊勢崎大胡線(波志江町工区)	19
20	電線共同溝	伊勢崎市太田町	県道伊勢崎大胡線(太田町工区)	20
21	歩道整備	玉村町角刈	県道藤岡大胡線(角刈南工区)	21
22		伊勢崎市東小保方町	県道境木島大間々線(東小保方町工区)	22

凡例

- 【事業分野区分】
- 道路事業
 - 河川事業
 - 砂防事業
 - その他事業（下水・住宅・公共交通等）
- 【その他】
- 主要な防災拠点（1次防災拠点）
 - 主要な防災拠点（1次防災拠点以外）
 - 主要な物流拠点（産業団地）



伊勢崎市民病院
高崎工業団地
高崎玉村SIC
道の駅「玉村宿」
玉村可後場
玉村町社会体育館

北関東
成志江SIC
北関東自動車道
伊勢崎IC
JR河毛線
新伊勢崎
大川
清水機場(旧)
八斗島工業団地
南部工業団地
南部第三工業団地

赤塚・東・笠懸工業流通団地
三和工業団地
伊勢崎・東流通団地
境北部工業団地
伊勢崎・東第二流通団地
伊勢崎佐波第一団地
伊勢崎佐波医師会病院
伊勢崎行政員事務所
伊勢崎市消防本部
伊勢崎市役所
境上工業団地

5km



どのような未来を目指すための事業か

令和元年東日本台風と同規模の豪雨による
河川氾濫の水害リスクを軽減するため

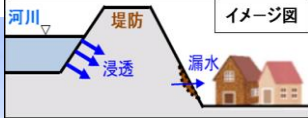
堤防の弱点を改善して
堤防を強化しました

地元の声

・堤防が決壊するおそれなくなり安心できる。(地元住民)

事業前

◆河川水位が高い状況が続くと、堤防内に河川水が浸透し、漏水をきっかけに決壊するおそれがありました。



既設堤防

事業前の状況

事業後

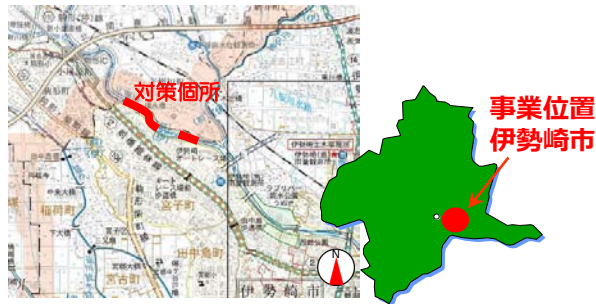
◆堤防に浸透した水を速やかに排水する構造にし、堤防が強化されました。



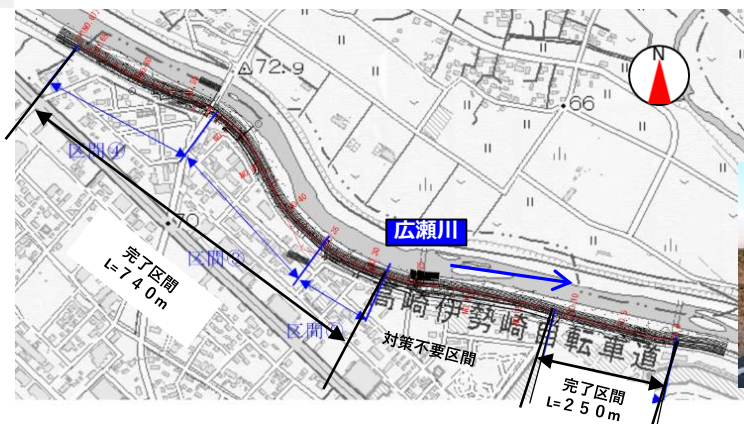
事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市宮子町 ほか
- 事業内容：堤防強化 全体延長 990m
- 事業期間：令和元年度～令和3年度



事業の進捗状況（令和3年度完了）



今、何をしているか

令和3年度に事業が完了し、堤防が強化されたことで、河川氾濫による水害リスクが軽減されました。



カゴ枠区間



排水性ブロック区間

事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

一級河川利根川(伊勢崎・玉村工区) 河川改修事業(堤防嵩上げ)

事業継続中

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減し、
社会経済の壊滅的な被害を回避するため

堤防の嵩上げをして流せる
水の量を増やします

地元の声

- ・洪水の時に不安なので、堤防の高さが足りないところは高くしてほしい。(地元住民)
- ・川に堆積している土砂により、川の水がせき上げられ、氾濫する危険が高まっているのではないかと。(地元住民)

事業前

- ◆ 堤防がない又は低いため、大雨の時は河川氾濫により浸水するリスクが高い状況です。



令和元年東日本台風前

令和元年東日本台風直後

事業前の状況

事業後

- ◆ 堤防を整備することで、下流へ安全に流せる水の量を増やし、河川氾濫による浸水リスクを軽減させます。

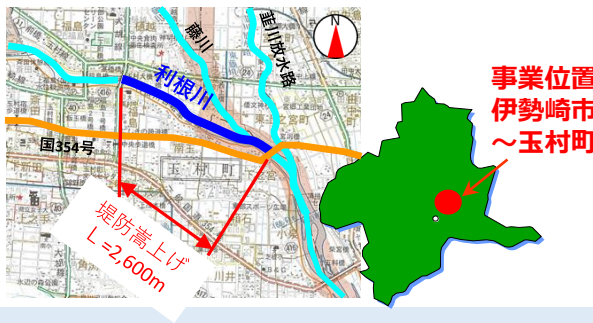


堤防を整備

事業後のイメージ

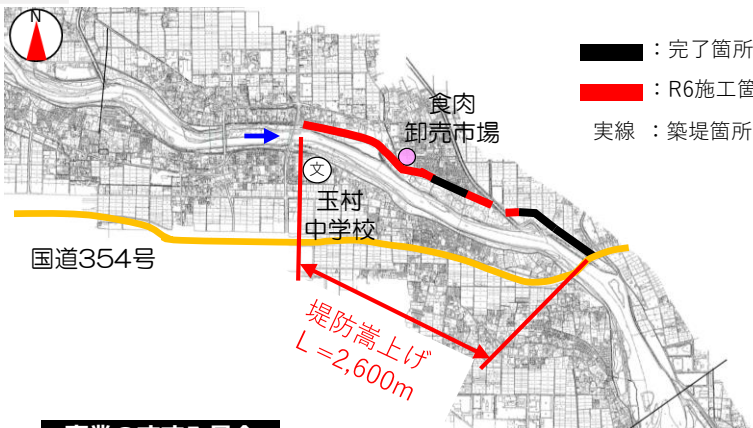
事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市柴町～玉村町上福島
- 事業内容：堤防整備（嵩上げ・新設）延長 2,600m
- 事業期間：平成27年度～



事業位置
伊勢崎市
～玉村町

事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



- 完了箇所
- R6施工箇所
- 実線：築堤箇所

事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

今、何をしているか

令和6年度は、引き続き、堤防を整備する工事を実施します。





どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を拡げて流せる水の量を増やします

地元の声

- ・川の流れがところどころで直角に曲がっていてそこで水が流れにくくなり溢れている。(地元区長)
- ・川から溢れた水が住宅のそばまでみるみる迫って来て、庭先や道路が川になります。(地元住民)
- ・早く浸水が起こらないようにしてほしい。(地元住民)

事業前

◆大雨の時、水が一度に小さい河道に流れ込むため、水害リスクが高い状況です。



浸水状況 (H20.7)

せまい河道

事業前の状況

事業後

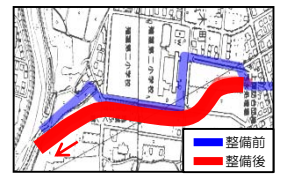
◆大雨の時、調節池に水を貯めることで下流へ流れ込む水の量を減らします。

調節池整備



◆川幅等を拡げることで、大雨の時に川に流せる水の量を増やし、水害リスクを軽減します。

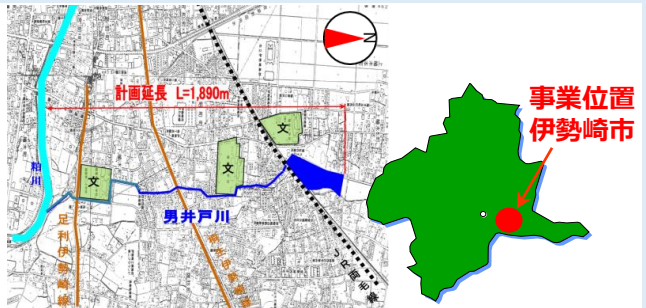
河道の拡幅



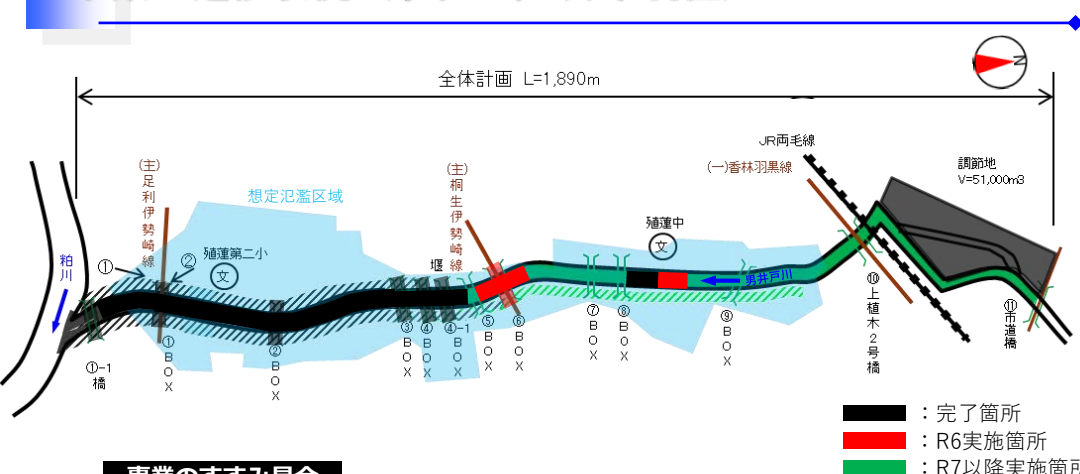
事業後のイメージ

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市日乃出町～豊城町
- 事業内容：河道改修 延長 1,890m
調節池 容量 51,000m³
- 事業期間：平成12年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は、引き続き河道工事を実施します。



道路の下(地中)に、新しい河道を設置します

事業のすすみ具合





どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減し、社会経済の壊滅的な被害を回避するため

堤防の整備や川の土砂を掘削することで、流せる水の量を増やします

地元の声

- ・洪水の時に不安なので、堤防の高さが足りないところは高くしてほしい。(地元住民)
- ・川に堆積している土砂より、水がせき上げられ、氾濫する危険が高まっているのではないか。(地元住民)

事業前

- ◆ 堤防がない又は低いため、大雨の時は河川氾濫により浸水するリスクが高い状況です。



令和元年東日本台風前

令和元年東日本台風直後

事業前の状況

事業後

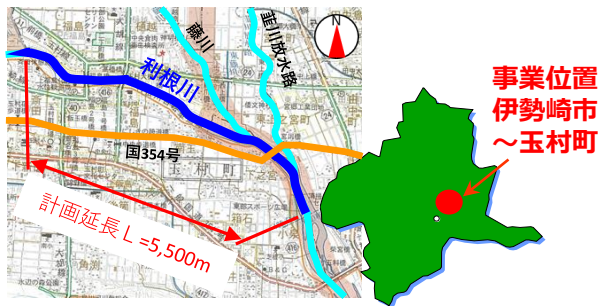
- ◆ 堤防を整備するとともに、河川内の土砂を撤去することで、下流へ安全に流せる水の量を増やし、河川氾濫による浸水リスクを軽減させます。



事業後のイメージ

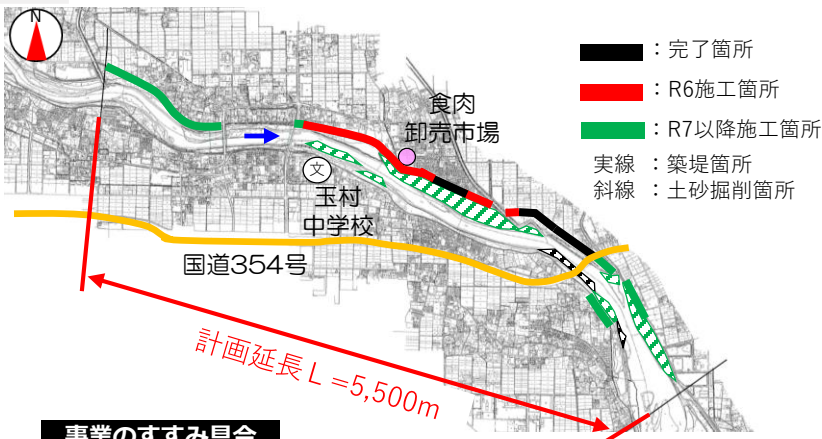
事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市柴町～玉村町上福島
- 事業内容：堤防整備（高上げ・新設）及び河川内の土砂掘削 延長 5,500m
- 事業期間：平成27年度～



事業位置
伊勢崎市
～玉村町

事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

今、何をしているか

令和6年度は、堤防を整備する工事、文化財調査、詳細設計を実施します。





どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化して 電柱を撤去します

地元の声

・災害時におけるライフラインを確保して欲しい。（地元住民）

事業前

◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

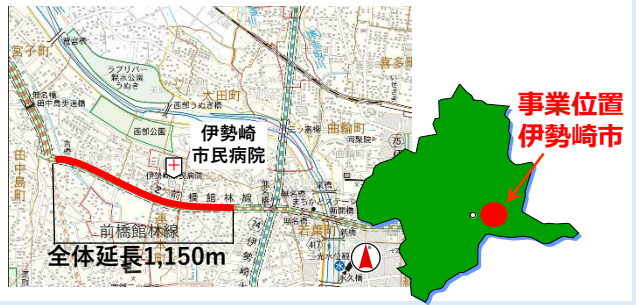
◆道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。



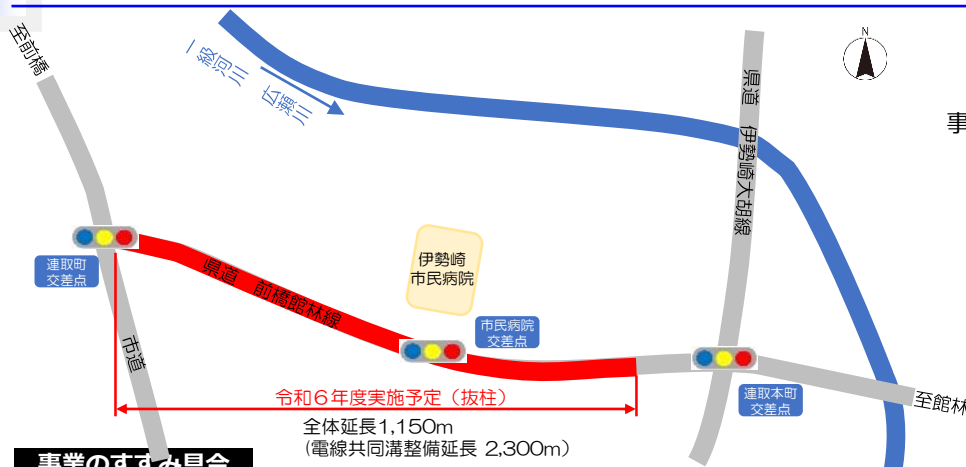
事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市連取町
- 事業内容：電線共同溝整備延長 2,300m
- 事業期間：平成26年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は、電柱の撤去を行い、事業を完了させます。



現在の状況

事業のすすみ具合

事業開始 ●

●●● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

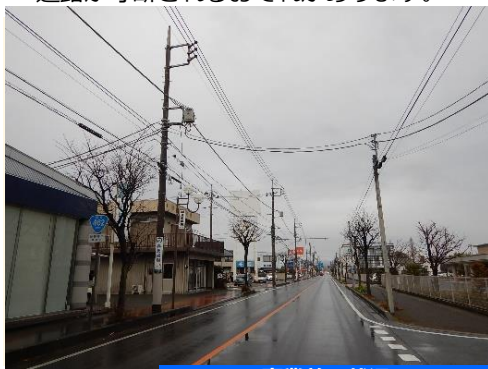
電線を地中化して 電柱を撤去をします

地元の声

- ・災害時におけるライフラインを確保してほしい。（地元住民）

事業前

- ◆ 電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

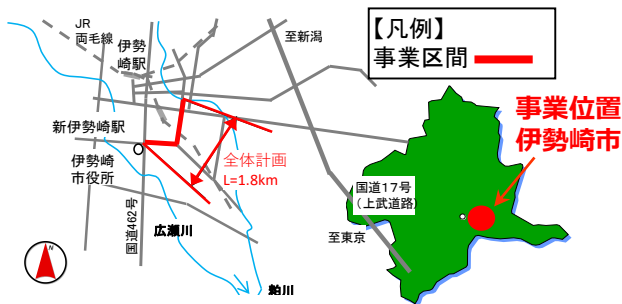
- ◆ 道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。



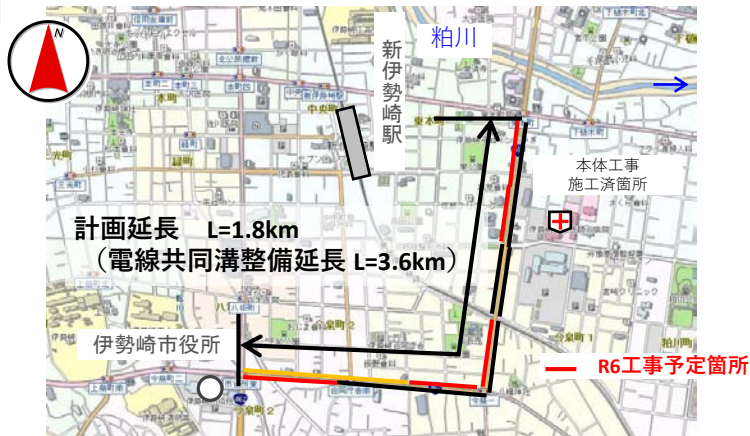
事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市今泉町二丁目～東本町
- 事業内容：全体延長 1.8km
電線共同溝整備延長 3.6km
- 事業期間：平成30年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

今、何をしているか

令和6年度は、引き続き、本体管路工事を実施します。



県道伊勢崎深谷線（上武大橋） 老朽橋架替事業

事業完了

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

既存の社会資本の機能を維持させるため

老朽化した橋梁を 架け替えました

地元の声

- ・橋や橋につながる道路は、狭くて大型車のすれ違いが困難。（道路利用者）
- ・橋が古くて、サビやひび割れが目立っている。（地元住民）
- ・歩道がなく、学生の通学が危険。（地域住民）

事業前

◆老朽化によって、橋の健全性が低下しつつありました。また、渋滞が頻繁に起こり、歩道がない箇所では歩行者の通行に交通事故の恐れがありました。



事業前の状況

事業後

◆新橋が開通したことで橋の健全性が改善されるとともに、車道が広がったことで渋滞が解消され、歩行者の安全な通行空間が確保されました。



事業後の状況

事業の概要

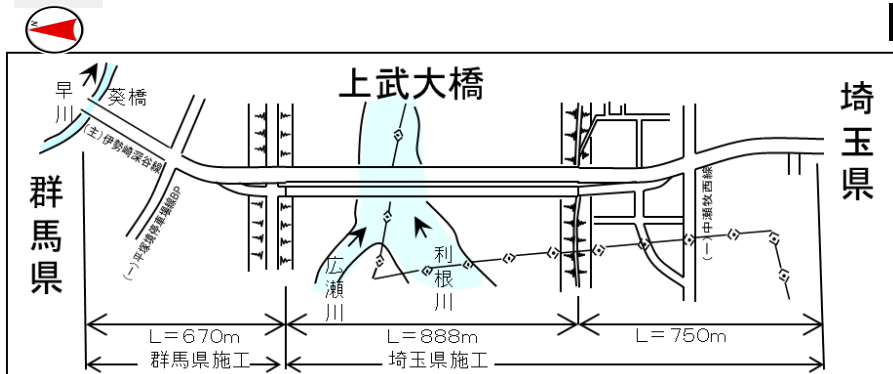
- 事業箇所：伊勢崎市境平塚～埼玉県深谷市中瀬
- 事業内容：老朽橋架替 延長2.3km 道路幅11.3m
- 事業期間：平成15年度～令和4年度



事業の進捗状況（令和4年度完了）

今、何をしているか

令和4年度に、旧橋の撤去工事、護岸工事、橋梁への河川管理用道路工事を実施し、架替工事が完成しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

県道苗ヶ島飯土井線 (波志江スマートICアクセス) 道路新設事業

事業継続中

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

物流の効率化による地域経済の活性化を図るため

ICアクセス道路をつくります

地元の声

- ・地域経済の活性化のため、産業団地から波志江スマートICへのアクセス性を改善してほしい。(地元住民)
- ・上武道路との交差点の渋滞緩和、大型車が安全にすれ違える道路にしてほしい。(地元住民、地元企業)

事業前

◆上武道路以南は県道が整備されておらず、市道を介して波志江スマートICへ接続し、アクセス性に支障をきたしているため、上武道路との交差点では渋滞が発生しています。



事業前の状況

事業後

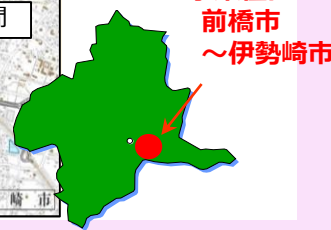
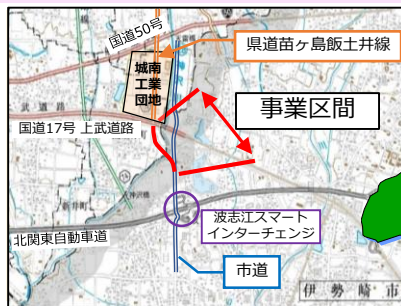
◆道路新設により、波志江スマートICへのアクセス性が改善し、移動時間を短縮します。
◆上武道路との交差点には右折レーンが設置され、交通渋滞を緩和します。



事業後のイメージ (一例)

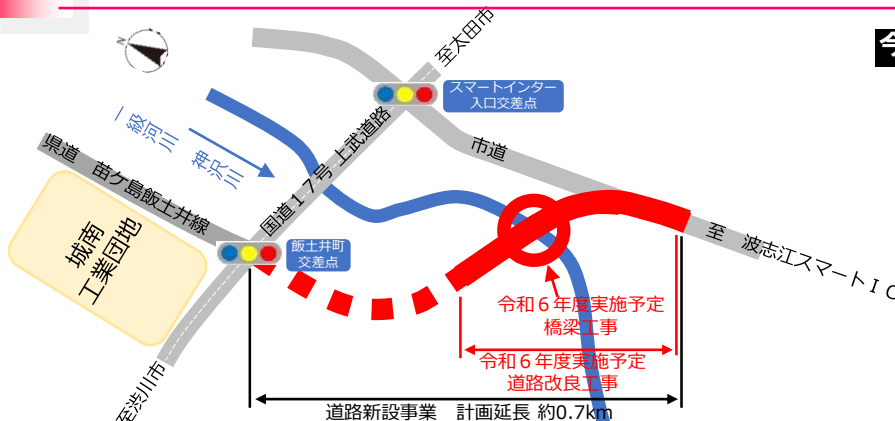
事業の概要

- 事業箇所：前橋市飯土井町～伊勢崎市波志江町
- 事業内容：道路新設 延長0.7km 道路幅10.25m
- 事業期間：令和元年度～



事業位置
前橋市
～伊勢崎市

事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



事業のすすみ具合



今、何をしているか

令和6年度は引き続き橋梁工事、道路改良工事を推進します。



P1橋台 (施工中) 前橋市側

P2橋台 (施工中) 伊勢崎市側



どのような未来を目指すための事業か

市街地等の円滑な交通を確保するため

バイパス道路をつくりました

地元の声

- ・境東交差点付近では朝夕混雑するため、渋滞を緩和させてほしい。(地元住民)
- ・平塚境停車場線は幅員狭小で、歩行者や自転車が安全に通行できなく危険。また、通過交通により、地元の生活道路として支障がある。(地元住民)
- ・世界遺産の「田島弥平旧宅」、「島村渡船」へのアクセス道路になり、観光誘客を期待する。(地元住民)

事業前

渋滞状況



◆境東交差点付近に渋滞が発生しています。

◆周辺道路へ回り込む車両が多いが、道路幅が狭く、歩道も未整備なため、通学児童・生徒が危険にさらされています。

自転車の通行状況



事業前の状況

事業後

- ◆バイパス道路が開通し、周辺道路の渋滞が改善しました。
- ◆幅員狭小な周辺道路への大型車の進入が減少し、歩行者、自転車通行の安全性が向上しました。
- ◆バイパス道路の無電柱化により、災害時も含め、通行者の安全性が向上しました。



事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市境東～伊勢崎市境米岡
- 事業内容：バイパス整備
 - 延長 580m
 - 道路幅 16.0～19.0m
 - 電線共同溝整備 延長 1,160m
- 事業期間：平成29年度～令和5年度



事業の進捗状況（令和5年度完了）

今、何をしているか

令和5年度に事業が完了しました。



事業のすすみ具合

整備済箇所 L=580m

事業開始 ●

● 事業完了

県道香林羽黒線（下植木町工区） 歩道整備事業

事業完了

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備しました

地元の声

- ・歩道が狭いため、児童の登下校が危険で心配。（学校関係者）
- ・子どもが利用するため、安全を確保してほしい。（地元住民）

事業前

◆殖蓮第二小学校の通学路となっていますが、歩道が狭く、歩行者は路肩を歩くため、交通事故のおそれがありました。



事業前の状況

事業後

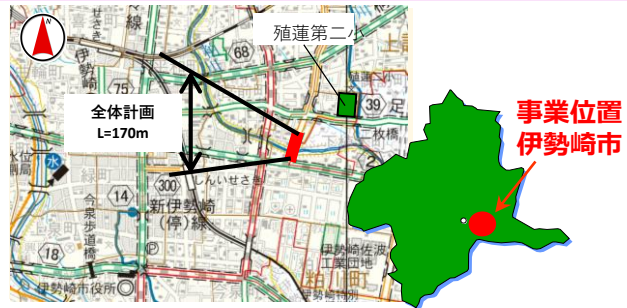
◆歩道を設置することで、歩行者の安全な通行空間を確保しました。



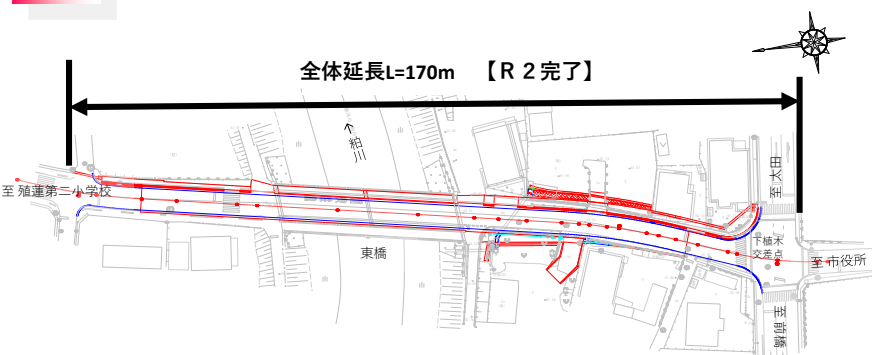
事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市下植木町
- 事業内容：歩道整備 延長 170m
歩道幅 2.5m
- 事業期間：平成27年度～令和2年度

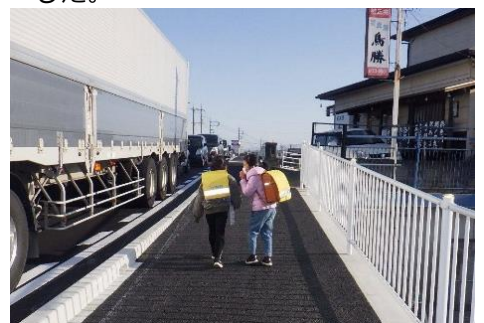


事業の進捗状況（令和2年度完了）



今、何をしているか

令和2年度に歩道整備が完了し、歩行者や自転車の安全な通行が確保されました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備しました

地元の声

- 中央小学校の通学路であるが、歩道の段差が大きく危険であるため、安全に歩けるよう歩道をつくってもらいたい。(地元住民)

事業前

- 歩行者と自動車を分離する構造物などが無く、歩道が波打つ構造であったため、歩行者が危険な状態となっていました。



事業前の状況

事業後

- 歩車を分離するブロックを設置するとともに、歩道が平坦となり、歩行者が安全に通行できるようになりました。



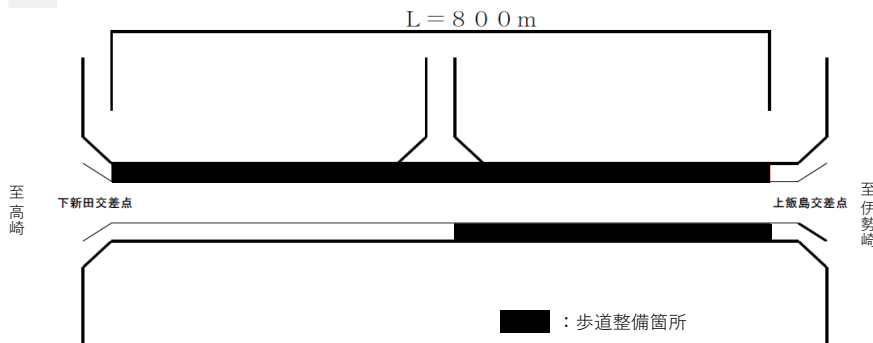
事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：玉村町下新田
- 事業内容：歩道整備 延長 800m 歩道幅 1.5m
- 事業期間：平成25年度～令和2年度



事業の進捗状況 (令和2年度完了)



今、何をしているか

令和2年度に歩道整備が完了し、歩行者や自転車の安全な通行が確保されました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備しました

地元の声

・通学路であるが歩道が狭く、また斜面になっているため子供が転んで危険。(地元区長)

事業前

◆ 大型車が多い路線ですが、歩道が狭く交通事故のおそれがありました。



事業前の状況

事業後

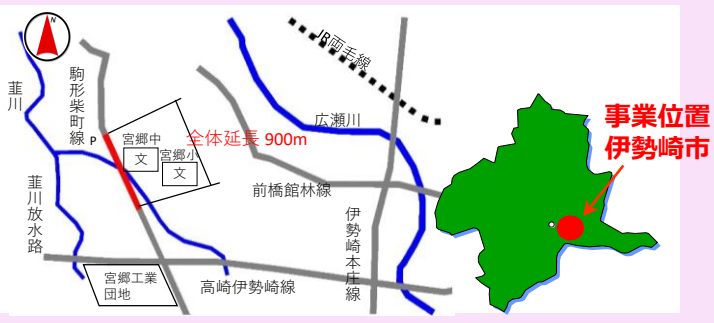
◆ 歩道を設置することで、歩行者の安全な通行空間を確保されました。



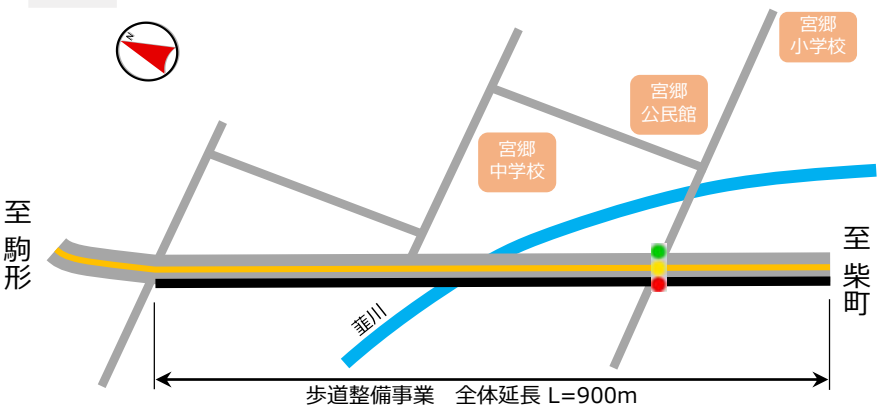
事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市宮古町
- 事業内容：歩道整備 延長 900m 歩道幅 2.5m
- 事業期間：平成29年度～令和2年度



事業の進捗状況 (令和2年度完了)

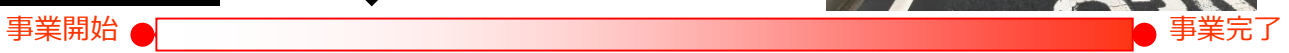


今、何をしているか

令和2年度に歩道拡幅が完了し、歩行者や自転車の安全な通行が確保されました。



事業のすすみ具合





どのような未来を目指すための事業か

快適な生活環境づくりに向け、
汚水処理人口普及率を向上させるため

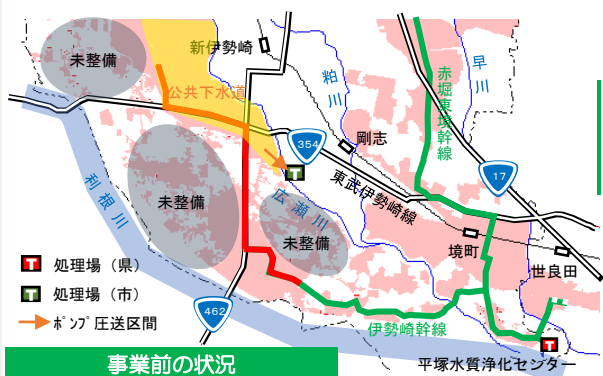
下水道管を
つくります

地元の声

- ・伊勢崎市の汚水処理は遅れているので、早く下水道を整備してほしい。（地域住民）
- ・単独浄化槽が寿命なので、すぐに下水道につなぎたい。（地域住民）

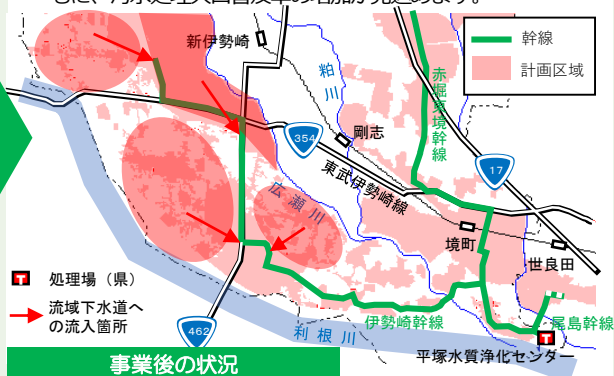
事業前

- ◆下水道が未整備の区域があります。
- ◆公共下水道の一部は広瀬川をポンプ圧送しているため、維持管理コストがかかっています。



事業後

- ◆幹線が整備されることで、下水道整備区域が広がり、汚水を流せるようになります。
- ◆公共下水道の一部を流域下水道に切り替えることで、自然流下の区域が増えて、効率的な汚水処理が可能になるとともに、汚水処理人口普及率の増加が見込めます。

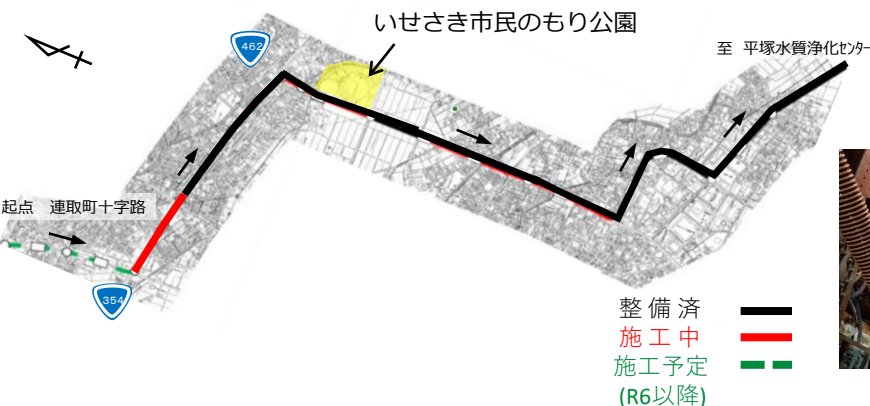


事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市境平塚ほか
- 事業内容：管渠築造 L=12,770m
- 事業期間：平成21年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は引き続き、管渠築造工事を
実施します。



施工状況

事業のすすみ具合





どのような未来を目指すための事業か

快適な生活環境づくりに向け、
汚水処理人口普及率を向上させるため

下水処理施設を
つくります

地元の声

・川の水環境をよくするため、下水道整備を進めてほしい。（地域住民）

事業前

◆ 汚れた水が処理されずに河川などに流されています。



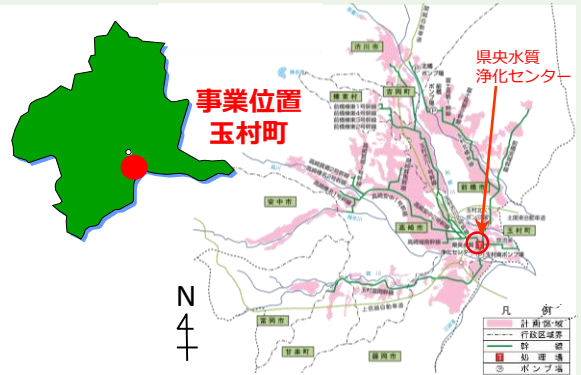
事業後

◆ 県央水質浄化センターに集められた汚れた水をきれいして川にもどすことで、川の水質が保全されます。

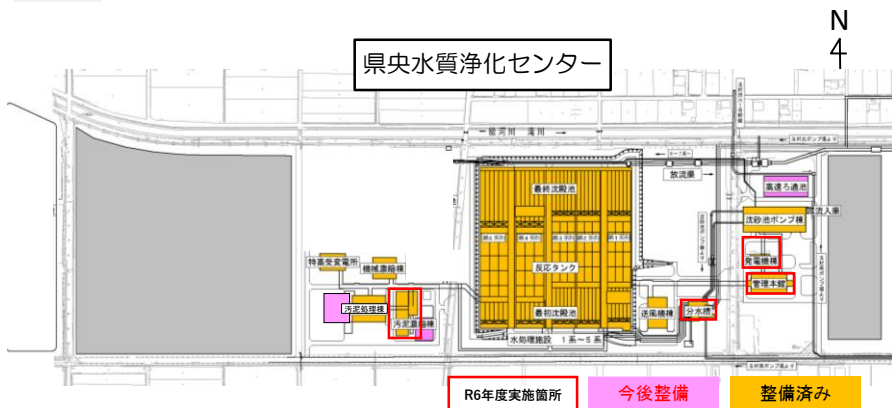


事業の概要

- 事業箇所：玉村町上之手
利根川上流流域下水道（県央処理区）
県央水質浄化センター
- 事業内容：水処理施設や汚泥処理施設の整備
- 事業期間：昭和53年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は引き続き、分水槽等の老朽化した施設を改築更新します。



事業のすすみ具合





どのような未来を目指すための事業か

快適な生活環境づくりに向け、
汚水処理人口普及率を向上させるため

下水処理施設をつくります

地元の声

- ・伊勢崎市の汚水処理は遅れているので、早く下水道を整備してほしい。（地域住民）
- ・浄化槽が寿命なので、すぐに下水道につなぎたい。（地域住民）

事業前

- ◆汚れた水が処理されずに河川などに流されています。



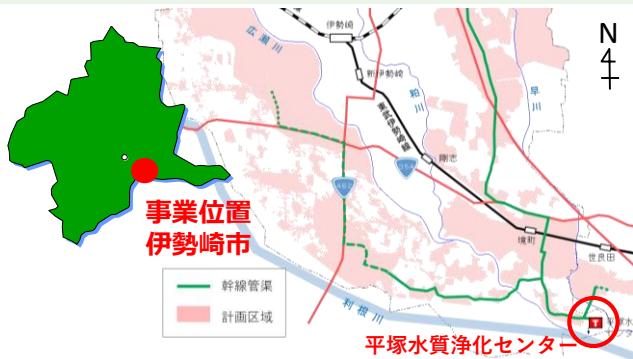
事業後

- ◆平塚水質浄化センターに集められた汚れた水をきれいで川にもどすことで、川の水質が保全されます。

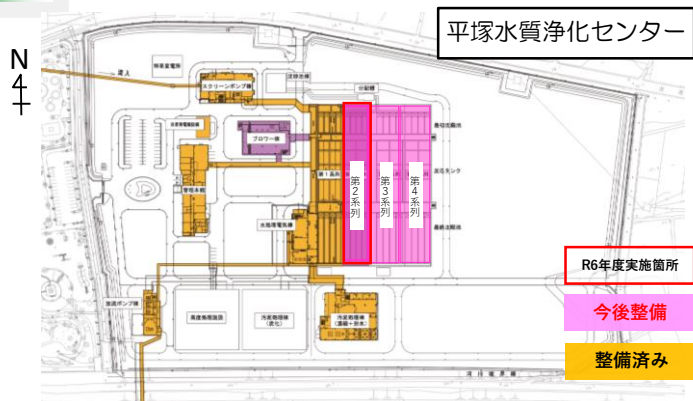


事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市境平塚ほか
東毛流域下水道（佐波処理区）
平塚水質浄化センター
- 事業内容：水処理施設や污泥処理設備の整備
- 事業期間：平成13年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

水処理施設増設のために、令和6年度は第2系列の施設詳細設計を実施しています。



事業のすすみ具合



県道伊勢崎深谷線(茂呂町二丁目交差点) 交差点改良事業

事業継続中

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

市街地等の円滑な通行を確保するため

交差点を改良します

地元の声

- ・交差点で道路が曲がっていて、見通しが悪いため、渋滞が発生している。(地元住民)
- ・周辺に小学校や児童クラブといった施設があるため、歩道を整備してほしい。(地元住民)

事業前

- ◆ 交差点前後の見通しが悪いことから、渋滞が発生しています。また、交差する市道も食い違っており、危険な状態となっています。
- ◆ 茂呂小学校の通学路になっていますが、歩道がなく、歩行者が危険な状態となっています。



事業前の状況

事業後

- ◆ 交差点前後の見通しが良くなり、渋滞が解消されます。また、交差する市道の食い違いも解消され、安全に通行できるようになります。
- ◆ 歩道を設置することで、歩行者が安全に通行できるようになります。



事業後のイメージ(一例)

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市茂呂町
- 事業内容：交差点改良 1箇所 延長 280m
- 事業期間：令和4年度～



事業位置
伊勢崎市

事業の進捗状況(令和6年3月末現在)



事業のすすみ具合

歩道整備

今、何をしているか

令和6年度は、用地買収を実施します。



事業開始 ● [Progress bar] ● 事業完了

県道綿貫篠塚線 (下新田2期工区) 歩道整備事業

事業継続中

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- 中央小学校の通学路であるが、歩道の段差が大きく危険であるため、安全に歩けるよう歩道をつくってほしい。(地元住民)

事業前

- 歩行者と自動車を分離する構造物などが無く、歩道が波打つ構造であったため、歩行者が危険な状態となっています。



事業前の状況

事業後

- 歩道を分離するブロックを設置するとともに、歩道が平坦となり、歩行者が安全に通行できるようにします。



事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所：玉村町下新田
- 事業内容：歩道整備 延長 500m
歩道幅 1.5m
- 事業期間：令和4年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)

今、何をしているか

令和6年度は北側歩道の工事を実施しています。



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化して 電柱を撤去します

地元の声

・災害時におけるライフラインを確保して欲しい。（地元住民）

事業前

- ◆ 電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。



事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市本町～東本町
- 事業内容：電線共同溝整備延長 1,800m
- 事業期間：平成30年度～



事業位置
伊勢崎市

事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は電線共同溝の本体工事に支障となる物件の移設等を行います。



現在の状況

事業のすすみ具合

事業開始 ● [Progress bar] ● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・通学路の一部に歩道がないところがあるため、通学に不安がある。（地元住民）
- ・県道は路肩が狭く、自転車や歩行者が危険な状況なので、歩道が必要だと思う。（地元区長）

事業前

- ◆ 大型車が多い路線ですが、歩道がなく交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 歩道を設置することで、通学する児童等の安全な通行空間が確保されます。



事業後のイメージ（一例）

事業の概要

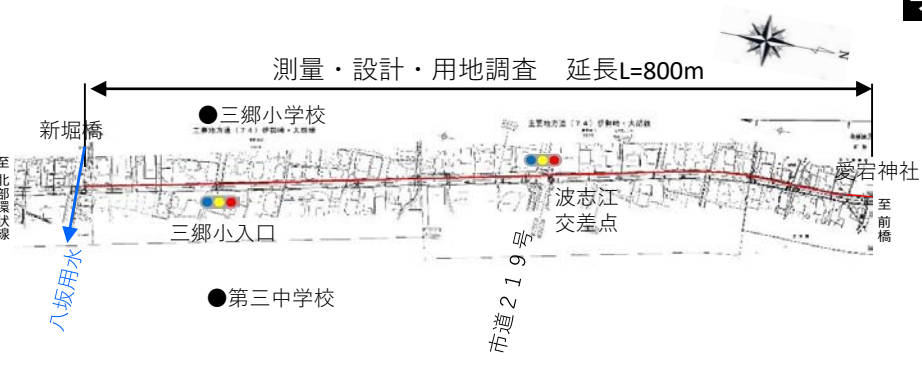
- 事業箇所：伊勢崎市波志江町
- 事業内容：歩道整備 延長 800m
歩道幅 2.5m
- 事業期間：令和5年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）

今、何をしているか

令和6年度は引き続き測量・設計を実施するとともに用地調査を実施します。



事業のすすみ具合





どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

電線を地中化して 電柱を撤去します

地元の声

- ・通学の学生が多いので安全な歩道にしてほしい。(地元住民)
- ・電柱をなくして、地域の景観を向上させてください。(地元商店)

事業前

◆電柱があるため、通学する生徒等の通行の支障となっている。



事業前の状況

事業後

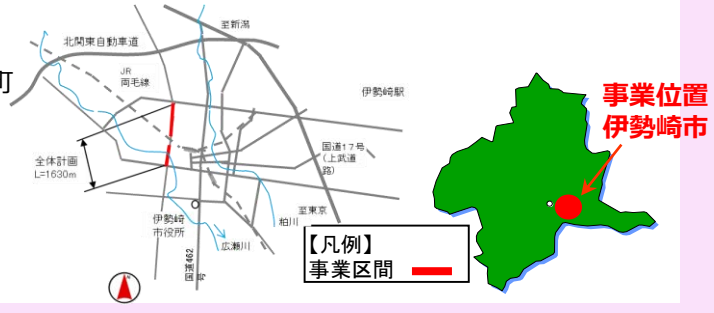
◆歩道上の電柱が無くなり、通学する生徒等の安全な通行空間が確保されます。



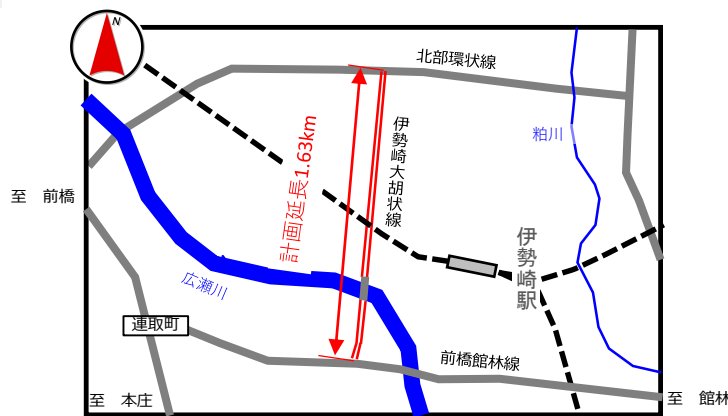
事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市波志江町～伊勢崎市連取町
- 事業内容：全体延長 1,630m
電線共同溝整備延長 3,260m
- 事業期間：令和5年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は、引き続き測量及び設計業務を行うとともに、電線共同溝の本体工事の支障となる物件の移設等を行います。



事業のすすみ具合





どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備します

地元の声

・新町駅や県立女子大に向かう際に利用されているが、道路幅が狭く危険であるため、安心して通行できる歩道・自転車道を整備してほしい。(地元住民)

事業前

- ◆ 道路幅が狭いことに加え、歩道と車道を分離する構造物などが無いため歩行者・自転車が危険な状態となっています。



事業前の状況

事業後

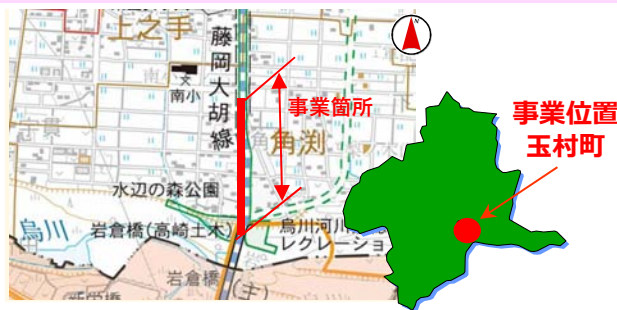
- ◆ 歩道を分離するブロックを設置するとともに、幅を広げ、歩行者・自転車が安全に通行できるようにします。



事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所：佐波郡玉村町角淵
- 事業内容：歩道整備 延長650m
- 事業期間：令和6年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は地元のご意見を伺い、測量に着手します。





どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- 歩道が狭く、段差があるため、歩行者や自転車の通行が危険。安全に利用できる歩道を整備してもらいたい。（地元住民）

事業前

- 歩行者と自動車を分離する構造物などが無く、歩道が波打つ構造であり、歩行者や自転車が危険な状況です。



事業前の状況

事業後

- 歩車を分離するブロックを設置するとともに、歩道が平坦となり、歩行者や自転車が安全に通行できます。



事業後のイメージ（一例）

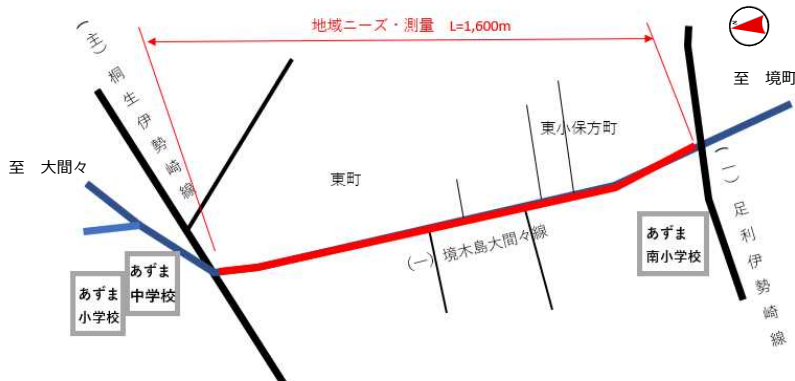
事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市東小保方町～東町
- 事業内容：歩道整備 延長 1,600m
- 事業期間：令和6年度～



事業位置
伊勢崎市

事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



事業のすすみ具合

事業開始 ●.....● 事業完了

今、何をしているか

令和6年度は地元のご意見を伺い、測量に着手します。

